参政党 sanseito

令和8年9月発行 討議資料

熊本県議会議員

高井ちとせ 県政報告



高井ちとせ　プロフィール

昭和61年1月生まれ。熊本県菊池市出身。
歯科医師。ひとり息子の子育て中。
2004年熊本ルーテル学院卒業。
2010年福岡歯科大学卒業。卒業後は熊本の歯科医院にて臨床に従事。
県議会での委員会は、厚生常任委員会、海の再生及び環境対策特別委員会

令和8年熊本地震に寄せて

このたびの熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く穏やかな日常を取り戻されますことを、心より願っております。
震災直後から被災地に入り、八代市の小川市議と連携しながら、現場での支援活動を続けてまいりました。今回も10年前の震災に引き続き課題として皆様から沢山のお声を頂きました。例えば、支援物資のラストワンマイル問題、県や市町村における備蓄体制、段ボールベッドなどの備蓄・配備体制の課題など、今回の経験を教訓として、平時から対策を見直す必要があることも見えてきました。また、農家、事業者、避難所、寺社仏閣など、被災された方々から直接、現状と課題を伺い、参政党本部を通じて国にも要望をあげてまいりました。度重なる震災や豪雨で被災された皆様のお声に寄り添い、一日も早い被災地の復興に僅かでも尽力できればと思います。







令和8年6月定例会 本会議 一般質問

水特集 半導体産業の集積と「水問題」を知事に質問

なぜ質問したのか？

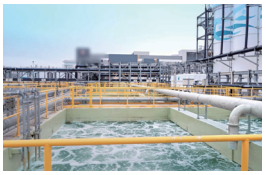
半導体工場の集積が進み、更なる工場誘致も検討されています。半導体の製造には大量の水が必要です。このまま地下水への依存が続いても良いのか？地下水依存からの脱却をまずすべきではないかと、皆さんからのご意見をもとに議会で知事に質問しました。



私が提案したこと

- 地下水依存から脱却し「再生水」活用の検討を
- 河川水も含めた表流水の活用も視野に
- 取水量・涵養量のバランスを示した中長期の計画

世界では「再生水」の活用が進んでいます



台湾

都市下水を高度処理し、半導体工場で再利用する再生水インフラを整備。



アメリカ・アリゾナ

砂漠地帯で水不足の中、工場内で水を循環利用する「半閉鎖循環型システム」を導入

熊本の現状

JASM第1工場、第2工場、SONY第2工場の3工場で1日あたり3～3.5万トンの地下水取水が予測されます。この水量は菊陽町と合志市の人口、約11万人が1日に使う水量に匹敵します。

